

遺愛同窓会宮城支部総会に 出席してきました！！

10月24日（木）仙台のホテルで行われた遺愛同窓会宮城支部総会に参加してきました。宮城支部の会員12名（お子さんも含めて）、函館からの応援11名の合計23名で、とても和やかな会となりました。

宮城支部の参加会員数は決して多くはありませんが、ここ3年くらい若い会員の方々の参加が増えてきています。小さなお子さんをと連れてきて下さる会員の方々がいらっしゃいます。前年度の写真と見比べてながら、お子さんの成長ぶりを皆で喜べる機会となっていま

す。また、卒業年度は違いますが、たまたま今年お子さんが小学校の同じクラスになり、函館出身という点で出身高校を聞きあうたことと遺愛ということがわかり、今回一緒に同窓会に参加して下さった方々もいらっしゃいました。輪の広がりを実感しています。最高齢は86歳の方でした。その方は最近の日本の状況をとても心配しておられました。戦前、遺愛女学校に在学中、日本とアメリカの関係が悪化するなかで、1941年（昭和16年）3月6日にワグナー先生（1934年の函館大火で被災者のために遺愛生と共に献身的な働きをなされ、戦後函館栄誉市民になった方です。）がアメリカに帰国せざるをえなくなってきたときに、函館棧橋までお見送りに行きました。自宅に戻ってくると、特高（特別高等警察）が来て、その日の行動について詳しく聞かれました。当時の特高は被疑者の自白を引き出すために暴力を伴う過酷な尋問、拷問を加えており、畏怖の対象でした。その特高が女学生だったその方の家に来て、一日の行動について聞いてきたので本当に怖かったと語っていただきました。今、国会で審議されている「特定秘密保護法案は大丈夫かしら？」と心から心配されていました。

2013年10月28日（月）

